

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		病児・病後児保育事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんなで元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	青木 洋治
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	栗木 清智
	基本事業	58	子育てと仕事の両立支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2158
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市乳幼児健康支援一時預り事業実施要綱		
	1	3	2	4	10579		成果優先度評価結果	1	
							コスト削減優先度評価結果	12	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	病気回復期のある児童の預かり保育を実施(合志市社協に事業委託)※ 菊陽町委託については、平成21年度11月から実施した南ヶ丘福祉センター輝き館の新設のため、平成21年度からは委託していない。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	病後児保育事業での預かり乳幼児の突発的な症状に対する診察、処置及び預かり指導に対処するために嘱託医を委嘱 ・保育所等に通っている小学校低学年までの児童が病気回復期にある場合、親の仕事等で家庭で保育できない場合に病後児保育で受入れを実施している。現在合志市社協へ委託し、ふれあい館の「すこやか」と輝き館の「ひかり」の2箇所で開催している。それぞれの施設設備等の関係で受入れ定員が少ないため、風邪等の流行する時期によっては受入れできない状況がある。
【業務の流れ】	①事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤委託料請求書受付、審査 ⑥委託料の支払 ①毎日の病後児保育利用児童の健康管理指導助言 ②突発的な症状に対する診察、処置 ③職員、保護者への指導研修
【主な予算費目】	委託料、報酬
【意見や要望】	・子育て家庭より「病後児保育」だけでなく、「病児保育」についても実施要望がある。 ・流行時期になるとベッド数が足りなくなり、受入れできない状況であるためベッド数の増加や力所数の増加の要望がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・保育所や幼稚園等通所していない生後2箇月から小学校3年生までの病気の児童等の預かりを行った。 ・嘱託医の委嘱を行った。	・保育所や幼稚園等通所していない生後2箇月から小学校3年生までの病気の児童等の預かりを行う。 ・嘱託医の委嘱を行う。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
→ ア:病児・病後児保育の実施設数	箇所
	イ:病児・病後児保育の登録者数
(単位)	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標
・生後2箇月から小学校3年生までの病気回復期にある児童 ・病後児保育を利用した児童	ア:小学校第3学年までの児童数
	イ:
(単位)	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標
・子育てと仕事の両立ができる。 ・利用児童の健康を適切に管理できる。	ア:病後児保育の利用者数
	イ:日毎の受入率(受入れた児童数/申込者数)の平均
	(単位)
	%
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
利用希望にどれだけ対応できているかを指標とするため、利用者数として設定した。 また、平成22年度については、ベッド数が限られており、また、風邪等の流行によっても大きく左右されることから、前年度並みで設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	箇所	2	2	2	2	2	2	2
	イ	人	1260	1539	1600	1690	1700	1750	1800
⑤ 対象指標	ア	人	5423	6153	5650	5578	5650	5650	5650
	イ								
⑥ 成果指標	ア	人	699	769	750	704	750	750	750
	イ	%				85.8			
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	3,618	4,753				
		都道府県支出金	千円			8,740	5,765	10,636	9,086
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円	3,976	2,970	3,577	4,763	3,088	5,108	5,108
	(A) 事業費計	千円	7,594	7,723	12,317	10,528	13,724	14,194	14,194
	(A)のうち指定経費	千円				364			
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件費	正規職員従事人数	人	3	4	4	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	55	115	100	100	70	70	70
	(B)人件費計	千円	218	460	398	398	279	279	279
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,812	8,183	12,715	10,926	14,003	14,473	14,473

総トータルコスト	全体計画	～ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)		
		0
		0
		0

合志市

事務事業名	病児・病後児保育事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成21年度は、新型インフルエンザが流行し、職員が新型インフルエンザのワクチン摂取が国の方針により摂取ができず、新型インフルエンザの疑いのある児童の受け入れを行わなかったため、実績が減った。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

時期的に風邪等が流行する時期はベッド数が足りない状況はあるが、通常は充足していると考えられるため現状維持とする。

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・病後児保育の預かり定員を増やすためには、看護師や保育士の人員確保が必要である。また施設の拡充整備が必要である。